＜ PDCAマネジメントサイクルに基づく評価 ＞

行革プラン２０１９では，年度別計画を基に半期毎の取組計画を明確化し，その進捗状況の確認や，年次評価を行うとともに課題等を把握し，次期や次年度以降の取組の着実な推進及び成果向上につなげるため，PDCAマネジメントサイクルの意識強化を図りながら取組を推進しています。

方針
基本的取組
プラン

1　プランの内

市民参加と協働の実践を通じた課題整理を踏まえて，幅広い意見の把握や多様な主体との連携につながるよう，運用改善や創意工夫に引き続き取り組む中で，これまでの参加と協働の実践を通じた課題整理を踏まえて，幅広い意見の把握や多様な主体との連携につながるよう，運用改善や創意工夫に引き続き取り組む中で，調布市市民参加プログラム等の見直しにつなげていきます。さらに，市民等による地域情報化における多様な主体との連携を図ります。

年度別計画

令和元年度

◆パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用
◆市民参加プログラム等の課題整理・見直し検討（市民参加・協働の実践を踏まえた運用改善）
◆多様な主体との協働・連携
◆市民等による地域情報化における多様な主体との連携

2　取組状況

前期

【取組計画】（ＰＬＡＮ）

○市民参加・協働実践状況調査により，市民参加手続と協働事業の実践状況を把握・検証するとともに，参加と協働の前提となる情報を共有するため，市民参加・協働実践状況報告書として公表します。
○新入職員等を対象とした職員研修を実施し，参加と協働における必要な知識・技能の習得を図ります。
○市民参加推進協議会において，参加と協働によるまちづくりを推進するための制度や仕組みづくり等について組織横断的に検討します。
○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図ります。
○様々な市民参加手続を実践する中で，運用改善や創意工夫を継続するとともに，市民をはじめ，民間事業者やＮＰＯ法人，大学・研究機関等，多様な主体との連携・協働を図りながら参加と協働の
○調布地域情報化推進協議会
○地域情報化に関する情報の

※年度別計画に基づく半期毎の取組計画の明確化

【取組実績及び取組による成果・効果】（ＤＯ・ＣＨＥＣＫ）

○市民参加・協働実践状況調査により，市民参加手続と協働事業の実践状況を把握し，効果や課題等を整理し，また，
○新入職員等を対象とした研修を実施し，職員の参加と協働に
○市民参加推進協議会において，参加と協働によるまちづくりを
○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について，実践状況を踏まえた運用改善に努め
○様々な市民参加手続を実践する中で，運用改善や創意工夫を継続するとともに，市民をはじめ，民間事業者やＮＰＯ法人など多様な主体との連携・協働を図りました。
○毎月開催される調布地域情報化推進協議会
○関東ＩＣＴ推進ＮＰＯ連絡協議会が開催し
○国際大学グローバル・コミュニケーション
地域情報化に関する情報収集に取り組みました。

※上半期における年度別計画の進捗状況

※成果・効果の明確化

【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（ＣＨＥＣＫ　○：（概ね）計画どおり　△：遅れる　○

【後期における取組の方向性（留意点や見直し，改善など）】（ＡＣＴＩＯＮ）

○市民参加・協働実践状況調査により把握した，市民参加手続と協働事業の実践状況に基づく効果や課題等を検証しながら市民参加と協働の仕組みづくりにつなげていきます。
○市民参加推進研修を
○様々な市民参加手続
参加と協働のまちづく
○調布地域情報化推進協議会が令和２年１月に予定している講演
など多様な主体との連携・協働を図ることで
るデザインと情報発信の極意」の開催を支援します。

※取組の着実な推進の視点からの後期の取組の方向性の明確化

後期

【取組計画】（ＰＬＡＮ）

○市民参加推進研修等による職員研修を実施し，職員の参加と協働
する知識の定着と実践的な能力の向上を図ります。
○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図ります。
○参加と協働の実践を通じ
等の見直しを検討します。
○様々な市民参加手続を実
やＮＰＯ法人，大学・研究機関等，多様な主体との
連携・協働を図りながら参
○調布地域情報化推進協議
○地域情報化に関する情報の収集に取り組みます。
○市民，事業者，教育機関等及び行政の協働による地域情報化を
るため，地域情報化推進連絡会議を通じた情報共有・連携を図ります。

※年度別計画に基づく半期毎の取組計画の明確化

【取組実績及び取組による成果・効果】（ＤＯ・ＣＨＥＣＫ）

○職員研修を実施することで，参加と協働の推進に関する職員の知識の定着，実践的な能力の向上を図ることができました。
○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例について，実践状況を踏まえた運用改善に努め，適切な運用を図ることができました。
○様々な市民参加手続を実践する中で，幅広
に取り組むとともに，市民をはじめ，民間事業者やＮＰＯ法人など多様な主体との連携・協働を図りました。
○毎月開催される調布地域情報化推進協議会
○調布地域情報化推進協議会が令和２年１月に開催した講演会の
を支援するとともに，庁内関連部署の職員の参加を促しました。
○調布市地域情報化推進連絡会議においては，庁内各担当部署
情報化の取組について情報共有を図りました。また，同会議に調布地域情報化推進協議会の事務局（調布市地域情報化コンソーシアム）が出席し，本協議会に
た令和元年度地域情報化推進調査報告について情報共有を図りました。

※成果・効果の明確化

3　年次評価及び総括

年次評価

【今年度の総括（評価の理由，取組による成果・効果），次年度以降の取組の方向性】（ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ）

A

○職員研修を通じて，引き続き参加と協働に関する知識の定着，実践的な能力の向上を図ります。
○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図るとともに，市民参加プログラム等に基づく実践を踏まえた課題整理に
○市民
践する中で，運用改善や創意工夫に
加と協働のまちづくりを一層推進し
○地
る応募があるとともに，参加者アンケートでは，今後の地域情報化の推進を期待する内容が多く寄せられ，市民団体等による情報発信の推進につながる取組となりました。また，毎月開催される調布地域情報化推進協議会において，庁内の情報や地域情報化に関する情報を提供することで，活動の支援を行いました。

※今年度における取組の進捗状況に対する評価（評価理由）及び次年度の着実な取組の推進や成果向上の意識を強化